

(2) 地域と学校パートナーシップ事業の現状

新潟市のもう一つの特徴的な取組みとして「地域と学校パートナーシップ事業」がある。「地域と学校パートナーシップ事業」は、学校が今まで以上に開かれ、地域と共に歩む学校づくりの推進のため、学校に「地域教育コーディネーター」を配置し、社会教育施設の様々な活動を結ぶネットワークづくりや共同事業を推進し、学・社・民の融合による教育を進めることをねらいとして平成19年度に創設されている。平成20年度現在、市内40校の小中学校で実施されており平成26年度までに市内全小中学校での実施を目指している。(図2-10参照)

1) 事業の視点と特徴

①学校のメリット

○地域の人材を生かした、多様な学習活動が可能になる。

- ・専門的な知識を生かした学習支援
- ・引率補助、安全見守りなどの人的支援

○休み時間や放課後も含めた多様な教育活動が可能になる。

- ・スポーツ少年団等の推進
- ・放課後、土曜、長期休業日の活用

○「自分たちの学校」として、教育活動、学校運営に対する地域の関心と期待が高まり、特色ある学校づくりができる。

②地域のメリット

○地域にとって学校が、もっとも身近な「学びの拠点」となる。

- ・学校施設の活用
- ・子育てで情報交換やサークル活動など学びの場の提供

○趣味や特技を生かせる、住民の自己実現の場となる。

- ・専門的な知識を生かした学習支援

③地域教育コーディネーターの配置

○対象者

- ・地域が推薦し、校長が認めた者を市が非常勤職員として委嘱

○役割

- ・地域人材の発掘と活用、学校支援ボランティアの組織化
- ・社会教育施設や地域の諸団体との連絡・調整
- ・地域の学びの拠点づくり

○活動例

- ・学校や地域のニーズを把握し、互いに協働できることを企画・調整・実施
- ・読み聞かせ、情報教育、総合学習、学校行事
- ・サマースクール等のボランティア募集や派遣
- ・地域交流を図ることができる場や子どもの居場所づくりの準備、開設



図 2-10 地域と学校パートナーシップ事業のイメージ

2) 事業の実施状況

①主な活動内容

○学校ごとの推進会議の立ち上げによる地域コミュニティや公民館等との連携強化

○学校の教育活動、課外活動における地域人材の参画と協働

- ・授業補助、参加（ミシン、水泳、道徳）
- ・クラブ活動講師（茶道、和紙づくり、囲碁、将棋）
- ・絵本読み聞かせ、放課後学習教室、食育、ラジオ体操、〇〇甚句音頭の伝承
- ・体験活動（校庭の果樹を利用した梅干し、干し柿づくり、凧揚げ、むかしあそび）
- ・校外学習引率、環境整備（樹木の剪定、花壇の整備、〇〇ロードづくり）

○学校における学びの拠点づくり

- ・家庭教室を利用した食育（地域・保護者対象、公民館との共催）、ふれあい給食ランチ
- ・地域探訪（地域・教職員対象）、おやじの会設立

○学校の教育を地域へ発信（保護者、地域へのおたより発行、学校HPの活用など）

②地域への周知・啓発方法

○地域、区役所だよりの活用

○ポスター掲示、チラシ配布（周知、学校支援ボランティア募集）

○保護者、地域へのおたより配布、回覧、学校HPにコーナー設定

③ネットワークの形成方法

○連携先

- ・地域（地域コミュニティ協議会、自治会、老人クラブ、NPOなど）
- ・社会教育施設（公民館、図書館など）

○指導者やボランティアの確保

- ・事業の中心となる地域教育コーディネーターには、地域活動、教育活動に関心・理解があり、信頼のあつた方を学校や公民館が人選し、教育委員会が委嘱する。
- ・コーディネーターは、学校のニーズを把握し、学校支援ボランティアを募集し、組織・整備にあたる。

○地域のネットワーク

- ・各学校にPTA、地域コミュニティ協議会、公民館などを構成員とするパートナーシップ推進会議を設置する。
- ・地域コミュニティ協議会などとの関わりをもつため、会議等の会合に積極的に参加し構成員からの協力を要請する。
- ・学校への要望を受け、相互に協力し合える体制づくりを行う。

④成果

○学校支援ボランティアの活用により学習活動が充実し、児童の人間関係が広がる機会や児童が大人から認められる機会が増えた。

○地域住民、保護者、社会教育施設が積極的に関わる良さを理解し、協力し合う姿が見られた。

3) 主な活動事例

①北区 松浜小学校での活動

○学校支援ボランティアの一元化

- ・校外学習引率（商店街、公共施設等）
- ・ふれあいスクール
- ・サマースクール（医療福祉大学生等）
- ・プール開放
- ・持久走記録会補助
- ・ミシンかけ授業補助
- ・昔の遊び
- ・飼育委員会指導
- ・総合「戦争体験を聞く」



写真：校外学習引率スタッフと生徒

○セーフティスタッフの組織づくり(54名)と年3回の会議開催

○「浜っ子サポート室」「多目的教室」の開放（サークル、会議等）

○地域教育コーディネーターデスクを浜っ子サポート室に設置

②江南区 亀田小学校での活動

○かめだ祭り「亀田甚句」の参加募集

（平成19年20名→平成20年190名）

○学校支援ボランティア

- ・亀田公園引率
- ・むかしあそびのかい
（コマ回し、折り紙、お手玉、けん玉等）
- ・町体験（すてきさがし）
- ・野菜づくり・収穫祭
- ・プール監視ボランティア
- ・絵本の読み聞かせ
- ・ミシン授業補助
- ・パソコン授業補助
- ・見学引率
- ・稲刈り
- ・ミシン授業補助
- ・放課後学習教室〈ホガク〉の実施（7月に2回、1～4年生20名にボランティア2名）
その後も継続（毎週火曜日）



写真：亀田祭りへの参加

○地域教育コーディネーターデスクを障害学習室に設置